

油ヶ淵ルネッサンス計画とは

■計画の背景

油ヶ淵の水質は、水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス 21・Ⅱ）によるこれまでの総合的な対策により徐々に改善しましたが、依然として**目標水質は未達成**であることから、引き続き関係機関が連携して水環境改善に取り組む必要があります。

■計画の目的

湖内・河川の浚渫や覆砂等のハード対策は 2020 年度までに概ね完了しましたが、目標水質の達成に至っていないことから、関係機関が実施可能範囲で施策を定め、**継続可能な対策は引き続き関係機関が連携し**、また、**新たな対策の取り組みを加えて**水環境改善に取り組むことを目的に策定しました。

■計画の目標年度

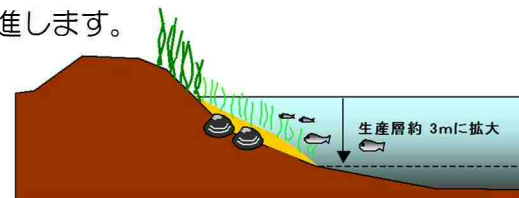
2030 年度を**目標年度**とする、2021 年度から実施する 10 年間の行動計画です。

■目標とする水環境

油ヶ淵流域の地域産業、文化、人、生物がいずれも共生できるよう、県、流域 4 市の関係行政機関、流域住民、NPO、学校等が連携して水質改善施策の取り組みを推進します。

【目標とする水環境】

総合的な水環境の改善に向け、水質を改善し、水環境の改善に伴い、地域住民に潤いと安らぎの空間を提供し、また、生物の良好な生息環境の創出を図ります。



▲目標とする水環境改善イメージ

油ヶ淵の水質の現状

これまで、関係機関が連携して実施した、湖内・河川の浚渫や覆砂、下水道事業等により油ヶ淵の水質は徐々に改善されています。

■水循環改善緊急行動計画（1994～2020 年度）期間の水質

<COD>

75%値は 1996 年度の最大 12mg/L から、近年は 7mg/L 程度まで改善し、2020 年度は 7.9mg/L でした。

年平均値は 1995 年度と 1996 年度の最大 11mg/L から、近年は 7mg/L 以下まで改善し、2020 年度は 6.9mg/L でした。

<底層DO>

年平均値は 2003 年度の最低 3.4mg/L から、近年は 6mg/L 以上まで改善し、2020 年度は 6.4mg/L でした。

年間達成率は 2003 年度の最低 25% から、近年は 80%程度まで改善し、2020 年度は 92%でした。

<透視度>

年平均値は 1996 年度の最低 22.7cm から、近年は 25cm 程度まで改善し、2020 年度は 24.0cm でした。

年間達成率は、1995 年度、1997 年度及び 2000 年度の最低 8%から、40%程度まで改善し、2020 年度は 25%でした。

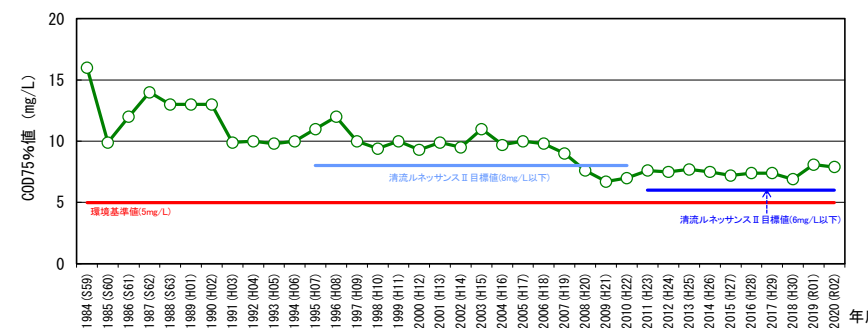
■今後

引き続き、関係機関が連携し、点源負荷や面源負荷の削減、内部生産の抑制等に取り組んでいく必要があります。

▼油ヶ淵の目標水質達成状況（環境基準点）

評価地点	水環境改善緊急行動計画												
	清流ルネッサンスⅡ			清流ルネッサンスⅡ改訂									
環境基準点 (下池中央)	1994～2003	2004～2007	2008～2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
総合指標	COD75%値 (mg/L)												
目標値	8.0mg/L以下												
達成状況	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
年平均値	8.4～11	7.5～8.6	5.8～6.7	6.8	6.8	6.9	6.9	6.5	6.9	6.7	6.5	6.6	6.9
生息改善指標	底層DO 目標達成回数												
目標値	年間を通して3.0mg/L以上												
達成率	25	75～100	92	67	100	67	75	75	83	75	83	83	92
年平均値	3.4	5.1～6.0	6.0～6.5	5.5	9.0	4.9	5.2	6.1	6.0	4.1	6.1	7.5	6.4
親水性指標	透視度 目標達成回数												
目標値	年間を通して30cm以上												
達成率	8～42	17～46	29～38	33	29	46	38	38	38	63	38	38	25
年平均値	22.7～26.7	24.7～30.8	24.8～28.5	26.7	25.5	27.9	25.7	26.8	27.4	32.9	25.4	27.8	24.0

注1：表中の底層DO及び透視度の目標達成回数は、年間達成回数/年間測定回数を示し、達成率はその割合を示す。
注2：2020年度調査結果は速報値であり、今後変更される場合がある。



▲油ヶ淵のCOD75%値の経年変化（環境基準点）

水環境改善目標

環境基準の達成を見据え、今後 10 年間に必要な目標とします。

指標	項目	現況水質	2030年度	長期目標
			目標水質	目標水質
総合指標	COD75%値	7.5mg/L	6mg/L以下	5mg/L以下
生息改善指標	底層DO 〔3mg/L以上年間達成率〕	83.3%	91%以上 〔11回/12回〕	100%
親水性指標	透視度 〔30cm以上年間達成率〕	40.0%	50%以上 〔12回/24回〕	100%

備考1：目標水質の〔 〕は公共用水域の水質調査回数を示します。
2：各指標で計画期間内に3年連続して達成した場合は、目標水質の見直しを行います。
3：2030年以降も段階的に各指標の目標水質を見直ししていきます。
4：現況水質は2016年度から2020年度の実測平均値です。

対策の概要

2030 年度までの目標水質を達成するため、地域住民と関係機関が一体となり、**点源負荷対策**、**面源負荷対策**、**河川・湖内水質改善対策**、**水質監視**、**啓発活動**などを総合的に推進していきます。

●点源負荷対策

【生活系】

- ・下水道整備の拡大と接続の促進
- ・農業集落排水処理施設
- ・合併処理浄化槽への転換の促進
- ・浄化槽の適正な維持管理の促進

【産業系】

- ・濃度規制、総量規制 等

▼下水道の整備・接続の推進

油ヶ淵流域の整備状況	2030 年度計画
下水道普及率	81%
下水道接続率	88%

●面源負荷対策

【総合】

- ・総量削減計画（その他系汚濁負荷対策）

【農地系】

- ・施肥対策（施肥基準に基づいた栽培の推進）
- ・代かき対策（濁水流出防止技術の推進、凝集沈殿の実施、代かきによる濁水流出対策の啓発）
- ・農業生産工程管理(GAP)*手法の導入 等

*GAP(Good Agricultural Practice：農業生産工程管理)：農業において食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み。

【市街地系】

- ・貯留浸透施設（雨水貯留タンクの設置、転用促進等） 等



●水質監視

- ・公共用水域の水質監視
- ・水位・水質の把握（河川カメラの設置） 等



●河川愛護活動等推進

- ・啓発イベントの実施
- ・一斉清掃の実施
- ・市民モニタリングの実施
- ・情報発信 等



●河川・湖内水質改善

- ・植生浄化（植生の管理）
- ・湖内のごり対策 等

